

平成29年3月15日

平成28年度の教育活動等に関する学校評価書

学校法人星美学園 静岡サレジオ小学校長 末吉弘治  
学校法人星美学園 学校評価委員会

教育目標(誠実な人、良き社会人の育成 )

	評価項目	評価内容	自己評価		学校関係者の評価
			評価点	学校としての反省・改善策	
1	教育目標	本校の教育目標「誠実な人・よき社会人の育成」「清い心・たゆまぬ努力」を達成するための取組ができている。	A		
2	宗教指導	本校はカトリック学校として全ての教育活動を通じ、その使命を果たしている。	A		
3	教育課程	本校の教育課程は教育目標を達成するために、適切な工夫がされている。	A	4-4-4制が完成を迎える年にA評価になったのは教職員一人一人が意識して取り組んできた結果である。今後もさらに見直しと改善を加え良い教育内容を作り上げていきたい。	○もう少し先を見通した学習内容だと良い。 ○ $\alpha$ と $\beta$ のクラス分けが曖昧。 $\alpha$ クラスの人数が多すぎるので多い方のクラスを2つに分けてほしい。
4	評価・認定	本校では、児童の努力の結果を正當に評価できている。	A		
5	教科指導	本校では落ち着いた環境で児童の学力をのばすための授業が行われている。	A		

6	授業研修	教員の資質向上のため、授業研修や校内研修等が適切に行われている。	B	今年度、国際バカロレア・ICT研修に取り組んできたが、何が教師として確かな力となって残った研修だったのか自信を持って答えにくい。これからのさらなる取り組みにより、より理解を深めていきたい。また、本年度は例年よりも見せ合い授業が少なく、個々に任されていた部分が多い。日々の生活の中の小研修を充実させ、学年や学年部の深め合いを充実させたい。	○国際バカロレア・ICT研修がどう先生方、子供たちに役立っているのかわかりづらい。 ○学年に関係なく、授業の空いている先生は他の授業を見学した方が良いと思う。 ○モデル校や他の私学の研修をすれば良いと思う。 ○教員の資質向上には極めて重要。限られた時間内で難しい面もあろうがしっかり進めてほしい。
7	学級経営	本校では、学級活動や個別面談などを通じ児童・保護者の意見が掌握されている。	A		
8	生活指導	児童を正しく導くために教師が共通理解をもち、生活指導に取り組んでいる。	A	個々の教師は熱心に取り組んでいるが、考え方、指導法に差があり、徹底が難しい。PM教員の生活指導に対する意識の差がある。小学校児童・小学校児童の保護者という立場での考え方を大切にしたい。	○小学生の新制服の着方が、特に下校時に乱れていることが多く、だらしく感じる。旧制服とは材質も違っているようで着にくいのではないかと感じる。 ○街中、車中等でみかける児童はとても礼儀正しい。学力向上は重要だが人間形成を重視していただいている成果だと感じる。 ○世の中が複雑化している中では、生徒指導も一筋縄では律せないであろう。生き方の価値観の共有や連携が一層必要なのではないかと感じる。
9	進路指導	児童の進路達成のために、適切な指導と学力養成が行われている。	A		○5年生の段階で中学選びを意識したい。サレジオ中学への進学を検討するためには、5年生の時期に見学、説明会などの機会があると良いと思う。

10	安全管理	児童の健康・安全を守るために、通学・防犯・保健の適切な指導や施設管理が行われている。	A	力を入れて指導に取り組んでいるが、MIにおいてもグループ指導・学年指導があった方がよい。2号館は児童の集合スペース・女子の着替え部屋が無く困っているが、校舎建て替えを待つ。	
11	校務分掌	教職員がそれぞれの職務や担当する役割に対し、責任を持って取り組んでいる。	A		
12	行事運営	校内外で行われる学校行事は教育目標に照らして十分にその役割を果たしている。	A		
13	管理運営	学校組織の管理運営システムが明確で、役割分担や協力体制が整っている。	B	管理運営システムは明確ではっきりしているが、他校種との協力体制をもっと強化させたいと望むため、教科や校務分掌、上下接している学年等話し合いの場があるのが良い。	
14	施設・設備	本校の施設、設備は児童が生活する上で快適な環境として管理・整備されている。	B	今ある施設設備を最大限生かし、工夫しながら教育活動を行っている。校舎の老朽化が進み、改善改修が困難なこともあり、新校舎建築を待つばかりである。	○校舎建て替え等の要望が多いので少しでも早く建替えられるのを期待する。
15	課外活動	放課後の課外活動を通じ、教師が常に児童と共にいるように努めている。	A		

<p>全般、総合評価</p>	<p>A</p>	<p>授業研修はやってはいるが、現状に自己満足してはいけないという厳しい評価になっている。 管理運営に関しては、今取り組んでいる協力体制をより強固にしたいという意見が複数出されているので次年度は今年度の反省を踏まえさらに向上できるように全教職員で取り組んでいきたい。</p>	<p>○4-4-4制のイメージが当初は湧かなかったが、新しい体制に変わっていく様子が分かり、このシステムが定着することを期待する。 ○4-4-4制になり、子供たちが早めに自分の目標を持てるようになったのは良い。 ○保護者とのコミュニケーションに関し、行事、バザー等含めもう少し具体的な分析(問題点の把握、改善策の検討など)が必要なのではないか。特に幼稚園と小学校父母の交流は内部進学のポイントになると思う。</p>
----------------	----------	---	---

※評価点  
A:十分に成果があった  
B:成果があった  
C:少し成果があった  
D:成果がなかった

今後に向けての学校の考え(学校関係者評価を受けて)  
4-4-4制は、これによって何か難しいことを始めようとしているわけではなく、あくまで基礎をしっかり学んでもらい、次のステップへ無理なく繋げていくための施策として展開しているもの。早い時期から将来について考えて頂けるきっかけになっているとすれば効果があったと考えている。他の校種との連携については今後様々な検討を行い、たくさんの方に内部進学を選択していただけるよう進めて参りたい。